

第 8 回我孫子市部活動地域移行検討委員会 議事録

1. 会議名称	第 8 回我孫子市部活動地域移行検討委員会
2. 開催日時	令和 7 年 5 月 2 7 日（火） 1 7 時 0 0 分～ 1 9 時 0 0 分
3. 開催場所	我孫子市教育委員会大会議室
4. 出席者	【委員】 藤原委員長、鈴木副委員長、中村委員、近藤委員、岡島委員、豊島委員、細川委員、吉川委員、上坂委員 【事務局】 丸教育長 菊地生涯学習部長 佐藤教育総務部長 （文化・スポーツ課）辻課長、永田課長補佐、加藤係長、 四家主任主事、五十嵐主任主事、山本コーディネーター （指導課）鈴木課長、塚田課長補佐、小山指導主事
5. 議題	（１）令和 6 年度我孫子市部活動地域展開 アンケート結果について （２）令和 7 年度部活動地域展開について （３）その他
6. 公開・非公開	公開
7. 傍聴人	1 人

内容：

- 開会の言葉
- 教育長挨拶
- 委員長挨拶
- 委員の委嘱
- 議題
- 閉会の言葉

○議事録：

(事務局)

それでは、定刻となりましたので只今より第8回我孫子市部活動地域移行検討委員会を開催いたします。本日はお忙しい中、お集まりいただきありがとうございます。本日の会議は委員9名のうち、出席者9名、欠席者0名であり、委員の過半数が出席のため会議が成立することとなります。

本日は傍聴の方が1名いらっしゃいます。会議の最後に傍聴人の方の発言の機会を設けますので、傍聴人の方で発言したい方がいれば、1人1回3分以内で発言願います。

それでは、最初に資料の確認をさせていただきます。各席に配布している資料をご確認ください。1枚目は、本日の次第になります。続いて令和7年度検討委員会委員名簿、国の実行会議最終とりまとめ（概要）と記載のある資料、【資料1】令和6年度アンケート結果報告書、【資料2】令和7年度部活動地域展開について（案）、【指導課資料】第8回我孫子市部活動地域移行検討委員会と記載のある資料、最後に令和7年度地域展開リーフレットとなります。足りない資料があればお申し出願います。

それでは、次に丸教育長より挨拶をさせていただきます。丸教育長よろしく願います。

-丸教育長挨拶-

本日はお忙しい中、お集まりいただきありがとうございます。さて、我孫子市の中学校の休日の部活動地域展開がかなり進んでまいりました。これもひとえに藤原委員長を始め、委員の皆様のおかげと感謝しております。また、スポーツ協会の中村会長を始め、スポーツ協会の皆様方には、昨年度の実証事業からいろいろな面でご協力いただきまして、今年度は新たに運営の方も少し入っていただくような予定にしておりますけれども、今後ともよろしくお願いいたします。

5月の中旬にスポーツ庁、文化庁からの有識者会議の最終報告の中で、今年度は部活動の改革推進期間となっております。今までは、3年間という形になっておりましたが、国で地域の実情等を踏まえた中で6年間の改革実行期間というように述べました。我孫子市は、この検討委員会の中でも実情に合わせて一歩ずつ進めていこうというような話をしておりましたけれども、その通りになってきたかなと思っています。昨年度、今年度そして来年度ある程度の形をとって、部活動の休日の地域展開ができ

ると嬉しいなと思ってます。今年度も数回の会議がありますが、その中でいろいろな検証をしながら前に進めていけたらと思ってます。どうぞご協力よろしくお願いいたします。以上でございます。

(事務局)

ありがとうございます。それでは次に、委員長挨拶となります。藤原委員長ご挨拶をお願いします。

-藤原委員長挨拶-

(委員長)

委員長の藤原です。どうぞよろしくお願いいたします。本日、議題が3つございますので、議事に従って進めさせていただきます。ご活発なご意見を頂戴したいと思っておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

(事務局)

ありがとうございました。続いて委嘱状の交付です。本来であればお1人ずつ交付させていただくべきところですが、時間の都合上、後日送付をさせていただきたいと思います。昨年度までで任期が一度終了していますが、皆様1年間の延長ということでお引き受けいただきました。ありがとうございます。また、我孫子市文化連盟におかれましては、この度の会長交代に伴い、新たに豊島文化連盟会長、中学校の保護者代表については、我孫子市PTA連絡協議会からご推薦いただいた細川様にそれぞれ委員を委嘱させていただきます。なお、昨年度まで総合型地域スポーツクラブから参加していただいております川端様については、辞退の申し入れがありましたので、今年度については、9名の方々に委員委嘱をさせていただきます。皆様におかれましてはお忙しい中、会議等にご参加いただきますが、本市中学校の部活動地域展開を進める上で、ご助言いただけますと幸いです。それでは、委員および事務局についても変更となっておりますので、簡単に自己紹介をお願いいたします。名簿の順番に、まず中村委員からお願いいたします。

-委員及び事務局自己紹介-

(事務局)

委員長および副委員長につきましては、昨年度から引き続き、委員長を藤原委員、副委員長鈴木委員にお願いできればと思います。よろしくお願いいたします。

では、要綱第6条により委員長が会議の議長となります。議事に入る前に、皆様にごお願いがあります。当会議の議事録を作成する必要があるため、発言をする際は、前にあるマイクを通して話していただきますようお願いいたします。発言する際は、ま

ずマイクのボタンを押してランプが赤く点灯したらお話しください。それでは、これから議事に入ります。藤原委員長、議事進行をお願いいたします。

（委員長）

それでは皆様、改めましてよろしくお願い申し上げます。本日の議題は、先程申し上げた通り2つとその他、合わせて3つございます。

まずは（1）令和6年度我孫子市部活動地域展開のアンケート結果について、事務局より説明をお願いいたします。

（事務局）

それでは、議題の（1）令和6年度我孫子市部活動地域展開のアンケート結果について、資料1に基づいて説明させていただきます。今回は、モニターにも同じものを投影していますので、どちらを見ていただいても構いません。よろしくお願い申し上げます。それでは、資料に基づいて説明させていただきます。

令和6年度から実証事業ということで白山中学校の卓球部、それから陸上競技部で、地域クラブ活動を9月からスタートしました。3月まで行い3月の末に生徒、保護者それから地域の指導者と部活動の顧問に対して、地域クラブ活動をやってみてどうだったかというところでアンケート調査を実施しました。生徒と保護者に関しては、5割程度の回答がありましたので参考にさせていただければと思います。2ページ目からが実際のアンケート内容の結果になりますけれども、紙の資料では各スライドの右下にページ番号を振ってありますので、そちらを確認していただければと思います。それでは、まず生徒のアンケート結果になります。4ページ目からが具体的な結果の内容になりますけれども、まずこのページでは指導者についての質問になります。全体として地域の指導者が入って良かったと回答した方が、割合として75%となり概ね多くの生徒が好意的に捉えているような結果となりました。その理由としては、やはり技術指導の部分と大会で良い成績が収めることができたということで、期間はまだ1年にも満たないんですけれども、地域の指導者が入ってある程度結果として出てきているのかなと考えております。次に5ページ目ですけれども、こちらに関連した質問になりますが地域の指導者が入ったことで指導者にどういうことを期待しますか、また、どんな人に指導してもらいたいかというところの問いになります。先ほどの結果にもあった通り、生徒自身も技術的な部分の指導を求めているのかなというのがわかります。それに合わせてどのような人がいいですかという問いに関しては、わかりやすく教えてくれる人と適切なアドバイスをしてくれる人が良いということで、やはり技術指導のところをわかりやすく教えてくれる人がいいという結果が出てきているような状況です。一方で、取り組んでいる今の活動を好きにさせてくれる人がいいというような回答も結構多かった状況でした。ここに関しては、現在の部活動の流れを汲んだ、ある意味きっかけ作り、そういうところの部分にも期待している

生徒が多いのかなと考えています。続いて6ページ目になります。今回地域展開を進めていく上で、普段の部活動であれば直接平日に顧問の先生から生徒に連絡ということが出来ますが、なかなか土日の活動だけになるとそういうことが必ずしもできるわけではありませんので、連絡アプリを導入して地域の指導者と生徒と保護者が連絡を取れるような体制をとりました。そのアプリに関しては、概ね良かったというような回答がほとんどでした。理由としては、スケジュールや指導者からの連絡が随時確認できるという意見がありました。一方で書きづらい、一部使いづらい機能があるというような意見もありましたので、そこは来年度以降本格的に展開していく上で、様々なツールを比較しながらやりたいと考えております。続いて7ページ目になります。Q10で活動場所についてです。卓球に関しては、これまで通り白山中学校の4階ランチルームを使用しています。陸上競技部に関しては、主にグラウンドを使用していますが、ほとんどの方が現在の場所が望ましいと回答している状況です。まだ一校でしかやっていないので、なかなか見えてこない部分もありますが今後必ずしも自分の通っている学校で活動ができとは限りませんので、こういうアンケート結果も踏まえながら、一定の配慮をして活動場所の選定をしていかなければと考えております。次のQ11からQ13に関しては、今やっている活動以外にやってみたい活動はありますかという問いで、今後展開していくマルチ活動を考慮した質問になりますが、現段階でやっている活動と違う活動をやりたいという生徒はほとんどいないような状況で、半分はわからないと回答をしております。ここに関しては、こちらから具体例を出しているわけでもないで、なかなかイメージがつきにくい部分も大きいのかなと考えています。一名、他の種目を体験することで能力の向上に繋がっていきたいと回答してくれた生徒もいました。ここまでが生徒からのアンケート結果になります。

8ページ目以降が保護者からのアンケート結果になります。10ページ目以降が具体的な内容になりますけれども、まずは生徒と同様に地域クラブ活動の指導者についての質問をさせていただきました。こちら基本的には生徒と同様で良かったと回答した方が6割を超えているような状況です。理由としては、技術指導の充実というところでここも生徒と共通しているところかなと思います。1点、生徒とは違うところが指導者とのコミュニケーションや精神面に対する意見というところが上がってきていて、現在の部活動では部活動指導員を除いて教員が顧問という立場になってやっていますので、そのイメージで一定程度生徒指導の部分も期待している保護者もいるのかなと考えています。ただ、現在の指導者には、そこまで求めているような状況ではありません。Q6に関しても生徒と同様、期待することは何ですかというような問いになりますが、こちらやはり技術指導の部分を期待している結果となりました。続いて12ページ目に関しても指導者のところになりますが、どんな人が良いですかというような問いに対しては、わかりやすく教えてくれる人、取り組んでいる活動を好きにさ

せてくれる人ということで、ここに関しても生徒と同様で技術指導の部分で期待が大きいのかなと思っています。ただ、先ほども説明させていただいた通り、子どもの精神面やコミュニケーションの部分を重視しているというところも保護者が期待している特徴として挙げられるかなと考えております。13 ページ目に関しては、こちらも連絡方法のところですがアプリを導入してみて良かったと回答した方が大半という結果になりました。理由としても生徒と同様でスケジュール確認の部分等がやりやすかったということで意見がありました。連絡アプリを使用する上で改善して欲しい機能はありますかという質問については、全体としては好意的な意見が上がっていますが、今回使用したアプリに関しては、子ども同士が一对一でのやり取りをするとか特定のグループ作ってしまうなどそういうことを避けるための制限ということにはなるんですけれども、一对一でのやり取りができないというものになっておりますので、保護者から上がってきた意見としては、やはり保護者と一对一でやり取りをしたいというような意見も挙がっておりました。ここに関しては、確かに必要な場面もあるのかなというところで、アプリの改修をできるのかそれとも、全国的に地域展開が進む中で、特化したようなツールが出てきていますので、そこは比較検討しながら今後使うツールを見極めていければなと思っています。続いて 15 ページ目ですが、生徒にも聞いている項目になるんですけれども、今後の活動場所についての質問になります。やはり保護者の立場からしても現在の活動場所が望ましいというような結果が出ております。卓球に関しては、ランチルームでやっていたので一部白山中学校の体育館でやりたいというような意見もあります。通学している学校でやりたいというのが基本的には思っていることなのかなと感じております。続いて 16 ページ目になります。こちらに関しては、先ほどのマルチ活動の部分の質問になるんですけれども、今やっている種目以外の活動が開始された場合に別のクラブに参加させたいですかという問いに対して、子どもが希望すれば参加させたいという保護者が大半という結果になります。その理由としては、様々な経験を通した運動能力向上、それから文化的な能力の向上というところと、スポーツ活動だけではなくて文化活動も体験して欲しいという保護者が多かったというところになります。そのマルチ活動の部分で考えると、まだまだニーズとしては掘みきれていませんので、そこは今後予定をしているアンケート等を通して把握をしていきたいなというふうに考えております。続いて 17 ページ目に関しては、参加費用の質問になります。まず参加費用が発生した場合に参加したいと思いませんかという問いに関しては、こちらも子どもが希望すれば参加したいという方が多かった状況です。あとは設定金額によって検討したいという方が大半を占めるような結果になっております。現在の部活動に関しては、学校によって徴収の仕方は違いますが、部活動費や生徒会費という名目で徴収をしているかと思いますが、今後地域クラブで活動していく上では、やはり指導者への謝金や保険それから全体の管理に

関する費用が発生してきますので、どうしても受益者負担での運営は避けられないかなと考えております。そこを踏まえた上での質問がQ16になります。1ヶ月当たりどの程度の費用までなら参加したいかという問いに関して、バラつきはありますが2,000円までが8割以上という結果になっております。ここに関しては、参加したいのに参加できないという生徒が出ないようにするためにも、できる限り安価に設定をしなければいけないかなと考えてます。国でも各自治体の受益者負担の設定額に関しては、ある程度の目安を示すということで先日通知がありましたので、その金額と今回の実証事業で把握できたところでシミュレーションして費用設定は考えていきたいと思っております。18ページ目に関しては、自由記述ということで様々な意見をいただきました。特に下の点2つに関しては似たような内容になりますが、国では当初令和8年度から全ての部活動地域展開しましょうということで、我孫子市でもそれに向かって進めているような状況ではあるんですけども、そこは子どもの活動に支障が出ないようにそれから持続可能な体制を作っていくということが大前提として、スケジュールは適宜見直しもしながらやっていくべきかだと考えております。ここまでが保護者からのアンケート結果になります。

続いて19ページ目以降が指導者からの結果になりまして、こちらに関しては、地域クラブの指導者とそれから昨年度は、兼職兼業ということで平日は顧問の立場でありながら、土曜日と日曜日は地域クラブ指導者という立場になって指導された教員もおりますので、それぞれ結果の報告をさせていただきます。20ページ目のQ2が地域クラブ指導者に対しての内容になりますが、実際に活動してみてどうだったかというところで、技術・体力的に向上したというところの意見がありました。そこに付随して、教員の負担軽減に繋がったと回答している方が多かったような状況です。ただ、教員の負担の部分に関しては、時間的な負担が必ずしも減ったというところではなくて、あくまでも技術指導の部分の負担が減ったということで捉えていただければと思います。前回の検討委員会の中でも触れさせていただきましたが、特に卓球は学校の校舎内を使わないといけないというような状況ですので、指導はしなくても顧問の先生方も出勤をしていたような状況でした。この施設使用の部分に関しては、今後も課題になってくると考えております。続いて21ページ目に関しては、Q3で指導者条件についてとありますが、指導者条件というのは、謝金の単価などを指している質問になります。ここに関しては、適切であるという回答と緊急体制に不安があるという回答がありました。実際にアンケートの他に3月の末にも各指導者と意見交換をする場を設けさせていただきまして、その中では今後の受益者負担を見据えると今の謝金単価ではとても回らないんじゃないかというような意見も上がってきています。ですので、この条件の部分に関しては今年度の9月の段階で他の部活動にも地域展開を拡大していきますので、そこを目安に条件の見直しを行いたいと考えています。続いて

Q4 に関しましては、部活動顧問との連携についての問いになるんですけれども、今回部活動指導員の方も立場を変えて地域の指導者になっているということもありまして、適切な連携体制を築くことができたという回答が多くありました。一方で、指導方針の一貫性の部分や人事異動がどうしてもありますのでそういう部分で今後の連携について、不安に思っているというような意見もありました。その連携体制や関係性の構築に関しては、どの地域クラブ活動にも関係してくることなので、そこは顧問や指導者と意見交換をしながらしっかりと適切な体制を築いていければと思っております。続いて 22 ページ目に関しましては、白山中学校の陸上部と卓球部で進めていましたが、他の部活動に拡大していく上で課題と覚えることはありますかという質問になります。ここに関しては、国でも少しずつ話に出てきているんですけれども、平日部活動もできるところは地域クラブ化していきましょうというところで1つ上がっております。他には1番下のところの特別支援学級の生徒のサポートの部分に関して、当初から意見としては上がっていましたが、先生方は対応に慣れているというところで問題ないかと思いますが、やはり指導者を初めてされる方については、不安に思うということもあると思いますので、研修などがあると嬉しいということも実際に言っていました。今後、研修の内容なども検討していくことになりますがそういうところも踏まえた上で考えていきたいと思います。最後に Q6 その他の自由記述については、平日の練習もできれば継続してみたいですというような意見も上がりました。他の意見としては、今後地域クラブ活動全体において指導者の確保というところがかなりの課題になってきますが、高校生や大学生も指導に当たれるような仕組み作りを作った方がいいんじゃないかという意見もありました。今後の指導者の確保、それから指導者バンクなどの仕組み作りをしていく上で参考にしていきたいなと考えております。23 ページ目からは、今回は卓球部になりますが教員の兼職兼業でやられた方のアンケート結果になります。まだ、半年にはなりますが地域クラブ活動指導者として活動してみてどのように感じましたかというところに関しては、やはり専門的な指導者も入ったというところで、体力や技術の向上に繋がったという回答をいただいております。Q2 の指導者条件についてどのように感じましたかというところに関しては、緊急体制に不安があるという意見がありました。やはりご自身が平日も見ている休日も兼職の指導者として入っているというところで、その方がいなくなったときに適切な対応が取れるかということに不安があるということがありました。昨年も作りましたがマニュアルを適宜見直しながら体制を作っていくといけないという思っております。Q3 に関しましては、負担軽減のところで負担は軽減されましたかという問いについては変わらないと回答がありました。理由としましては、先ほどもアンケート結果の中で説明させていただきましたが、技術指導的部分は、専門的な指導者が入っているから確かに軽減はされていますが、時間的な問題が一番大きいのではないかなと

思います。時間的な部分に関しては、どうしても施設管理のことなどがネックとなっているので、現状はあまり変わっていないような状況になります。続いて 24 ページ目になりますが、特に Q7 になります。今後進めていく上で課題を感じることはありますかというところに関して、先ほども説明させていただいた通り白山中学校の卓球部に関して、校舎の 4 階にあるランチルームを使用して練習していますので、完全な地域クラブ活動ができるようになったとしても鍵の開け閉めのためにどうしても出勤の必要があるというような状況です。例えば、これが体育館の部活動やグラウンドを使用している部活動に関しては、どうにかなるかなというところではあるんですけども、どうしても校舎の中を使う部活動は合唱などもそうですが課題になってくるかなと思います。前回の検討委員会の中でも説明させていただいた通り、国県の補助を使って校舎の改修ということも項目としてはあるんですけども、全学校対象にしてやらないといけないことや、1 学校当たりの最低単価が決まっているなど使いづらい補助金になっています。また卓球は、4 階でやってますが、トイレの場所等も含めて考えると校舎の改修や機械警備の対応範囲を変更するというだけでは、完全に顧問がいないうちで使用するというのは難しいのかなというのが実情です。その他のご意見として、現在の状況は部活動から大きく変わっていないということで、この状況が少しずつ変わっていくように今年度も協力してやっていきたいということで意見をいただいております。他の部活動にも共通していることではありますがなかなかこの移行期に関しては、顧問の先生方のご協力なしでは進んでいけない部分もありますので、しっかりと連携をしながら進めていきたいと考えています。簡単ではありますがアンケート結果については以上になります。

(委員長)

はい、ありがとうございます。概ね、生徒、保護者それから指導者も合わせて好意的な印象を受けております。ただいま事務局からの説明について、委員の皆様よりご質問ご意見等ございましたらよろしくお願いいたします。

(豊島委員)

最終的にはですね、教員の働き方改革ということと強く連携していると思うので、教員とクラブの指導者というのが一緒になってやるというような移行期間なので仕方がないのですがそうすると休日に教員も出なくてはいけなくなるので、望ましくないと思います。最終的にどういう形を目指すかということを描いていかないといけないんじゃないかなと思うんですね。細かいところはいろいろありますけども、全体的に聞いていて今回のアンケートで卓球に関してのところは、教員とクラブ指導者が連携をしてるから上手くいっていますが教員の働き方改革には繋がっていないと思います。以上です。

(委員長)

ありがとうございます。事務局から何かございますか。

(事務局)

はい。ありがとうございます。その部分に関しては、おっしゃる通りで時間的な負担の部分は確かに変わっていないような状況です。全体の方向性としては、教員の負担軽減というものは地域展開を進めていく理由の1つではあるんですけども、生徒の文化、スポーツ活動を持続可能な環境として構築していくということが大前提で進めております。その中で休日の部分も地域クラブの指導者として今後も指導していきたいというような教員の方々もいらっしゃいますので、そういう方の意思是ガイドライン等の兼ね合いもありますが、尊重しつつ、基本的には地域のクラブ指導者がメインとなって進めていく体制を作っていくべきだと思います。昨年度の結果として、まだまだ出てきていない部分ではあるんですけども今年度以降にチーム競技など文化活動にも拡大をしていきますので、顧問の先生と意見交換をしながら少しずつそういった体制に近づいていけるようにしたいと思っています。

(豊島委員)

はい。ありがとうございます。土曜日と日曜日も指導するということで、教員がそのように思っているのであれば問題はないかもしれないんですけど、恐らく10年くらい前に我孫子市は教員の働き方改革についての調査を行って、そういうものを作ったときに教員の働き方改革をやらなくてはいけないんですよ。部活動というのは、圧倒的に時間がかかると思うんですよ。ですので、教員の働き方改革というのを前提に置かないと生徒の文化とかいろんなものをやるための状況を作っているというのはその通りなんですけど、それは次の問題です。そこを一緒にしない方がいいと思います。以上です。

(事務局)

はい。指導課の小山です。よろしくお願いします。目的はいろいろリーフレットにもある通り、教員の働き方改革というのももちろんあると思うんですけども、それによって子どもたちがスポーツ活動や文化活動ができなくなってしまうということが先に来てはいけないというふうに教育委員会としては考えております。その中で先生方も一緒に関わって作っていきながら、後々手を離せるようにしていくということが現在進行形で行っているところです。教員の負担を軽減していきたいということはもちろんありますが、第一に考えていくのは、やはり子どもたちのことかなと思って動いているところです。よろしくお願いします。

(委員長)

その他ございますか。ではまた後ほどお時間を取らせていただきますので、議事を進めたいと思います。

それでは議題の(2)令和7年度部活動地域展開についてです。ご説明をよろしくお

願いたします。

(事務局)

それでは、議題の(2)について説明させていただきます。

資料に関しましては、資料2と書いてあるものと地域スポーツ文化芸術創造と部活動改革に関する実行会議最終取りまとめ概要となり、スクリーンに映している資料になります。まずは、最終取りまとめの概要について簡単に説明させていただきます。こちらはちょうど先週、国から最終取りまとめということで出てきたものの概要になっています。ここで大きく変わったところに関しましては、今まで地域移行ということで令和4年度から3年程度をかけて、まずは休日の地域移行を進めていくということで、国から方針が示され、それに基づいて市でも令和8年度を目標に進めているところではあります。当初、地域移行という言葉でスタートした事業になりますが1の(3)に記載のある通り、地域移行の部分に関して、最初の理念であったり地域クラブ活動の在り方というものを的確に表すために地域移行という名称を地域展開に変更して、今年度からやっていきますというような考えが示されました。ここについては、昨年度からそうしていくというようなことで話は出ておりましたので、我孫子市でも地域移行という名称を改めて、地域展開ということで4月から現在進めている状況です。ただ、言葉が変わっただけで基本的にやることについては、何も変わらないということになっています。続いて裏面の3になります。今後の改革の方向性についてということで、2つ目の次期改革期間というところになってくるんですけども、令和5年度から7年度までの3年間で今までは改革推進期間と言っておりまして、当初はこの3年間で休日の地域展開を進めて、令和8年度には完全に展開していきましようということで方針が示されておりまして、それに基づいて、我孫子市でも令和8年の9月から全部活動の地域展開というところを進めていました。国から地域の実情に応じて進めてくださいということで示されてはいますが、なかなかどの自治体も思うように進まないというところもありまして、改革実行期間の前期を令和8年から10年そして後期を令和11年から13年ということにしております、この令和8年から10年の3年間で休日の地域展開に着手するようということで、少しだけスケジュール感についても変わってきているのかなというところになります。ただ、進めているところを無理に遅らせるということはありませんし、無理やり進めるということもないのかなと思います。顧問の先生方それから地域の指導者の方と意見交換をしながら、まずは令和8年度の全部活動地域展開というところを目標にして持続可能な形というものを作っていただければいいかなと考えております。それから費用負担の在り方に関しては、先ほどのアンケート結果のところでも少し触れさせていただきましたけれども、基本的には受益者負担と公的負担のバランスを見ながらやっていまいしょうということで示されています。この公的負担に関しては、国それから県、市で支えることが重

要と記載がありますけれども、現段階では、令和 8 年度以降の国県の費用負担については、現状示されていないようなところではあります。そこは連携をしながら受益者負担の金額の部分にも関わってきますので、補助金があればもちろん使うようなことで考えていきたいなと思います。また、クラウドファンディングなど企業との連携についてもお金の部分や施設の提供も大事になってくると思いますので、地域全体で支え合うということできろんなところと協力しながら体制を築いていければと考えております。資料の 1 番最後のページで、個別課題への対応等ということで 8 個の項目に分けて課題等の対応方法の記載があります。この中の 5 番の大会やコンクールの運営の在り方というところが進めていく上でやはり大きな課題になっております。クラブ参加で大会に出場していくということに関して、中学校体育連盟の参加規約の改正なども最近ようやく進んできたかなというところでまだまだ地域展開を進めていく上では、クラブでの出場が難しい競技もありますので、働きかけをしながら大会出場それからコンクールの出場について示していきたいなと思っています。現段階では、基本的にどの地域クラブ活動も大会には部活動として出場するというのが基本としています。令和 8 年度に関しましては、いろんな条件が整ってクラブとして参加ができるということに関しては、クラブでの参加というのも考えられるかなと思っています。最終的には令和 9 年度から 10 年度あたりに、どの競技や活動も地域クラブとして大会やコンクールに出場できるというのがいいのではないかとということで、リーフレットにも記載をさせていただいております。こちらの最終取りまとめについては以上になります。お時間があるときに細かい内容の記載がありますので、ご確認いただければと思います。

続いて資料 2 になります。令和 7 年度の部活動地域展開についてということで、スクリーンに表示している資料になります。前回の検討委員会の際にも令和 7 年度の計画案ということで、説明させていただきましたが 3 月の委員会から本日までで進んだ部分もありますので、経過報告も含めて説明させていただければと思います。令和 7 年度に実証ということで進めている白山中学校の陸上と卓球について、こちらは継続して活動をしている状況になります。他の拡大する部活動に関しては、活動日が 9 月から令和 8 年の 3 月いっぱいまでということになります。対象としては、全 6 中学校で最低 1 つの部活動は地域展開をするということになります。対象部活動としては、前回までは案ということで説明させていただいたんですけれども、こちらに記載の部活で確定をしております。ソフトボール、ソフトテニス、サッカー、合唱ということで活動は、9 月から地域クラブとして活動をしていきます。それぞれで進め方は異なってくるんですけれども基本的には地域クラブとして活動していくということになります。現在進めているスケジュール感としては、4 月から 6 月の部分で部活動の保護者説明会を 4 月末の段階で各学校各部活動にて行っております。その前に各部活動顧

間に集まっていただいて説明させていただいたんですけれども9月から地域クラブとして、休日は活動しますということで、顧問の先生から保護者説明会で説明していただいているところです。また、指導者の調整や会場の調整を6月くらいまでで行っていくことになります。7月から8月に関しては、活動開始の準備ということで関係者と意見交換をしながら何人くらいの指導者が必要かというところがわかってきていますので、指導者の調整をしつつ、平日は部活動として行いますので今後の先生方とそれから各指導者が意見交換する場を持った上で、9月を迎えたいなと思っております。共通して、会場の調整ということで記載をしているんですけれども基本的には、各中学校が練習場所になってきます。ただ、先ほども説明させていただいた通り校舎内をずっと使用しているとなかなか教員の負担軽減になってこないというところもありますので、例えば合唱などに関しては、公共施設を9月以降押さえているような状況ですので、学校は使わないで活動をしていく準備を進めている状況です。民間施設の確保という記載をしていますですがテニスなども1ヶ所や2ヶ所の拠点というような形でやっていくとなると、どうしても学校の面数だけでは足りないというところもありますので、民間施設や公共の施設を使用しながらできればと思っております。続いて2ページ目になりますが、こちらは今回の実証事業でどういう項目を検証していくかという内容になります。これは3月の検討委員会で示させていただいたものから変更はありません。まずは、①の指導者の検証ということで、確保はかなり課題になってくるかなと思いますが、例えば大学と連携して学生の指導者を確保するなどそういったところも見なければならぬと考えております。②の連絡体制に関しては、新しいアプリを利用していますので、どういうものがいいたいところを比較、検討していきたいなと思います。③の緊急体制に関しては、学校の活動ではなくなりますので、スポーツ活動および文化活動も全てスポーツ安全保険に加入して活動をしています。保険があるから安心というわけではありませんが怪我や事故が起きてからの一連の流れなどに関して、マニュアルを適宜更新しながら本当に適切かというところを見極めていければと思います。④の移動方法に関しては、昨年度の実証では白山中学校の生徒だけが対象でしたので、いつも通っている学校で練習ということで変わりはありませんでしたが、今回は他の活動にも広げる中で、生徒の移動負担がどうなのかというところをしっかりと見ていきたいなと思います。最後に⑤の施設に関しては、各クラブと動線の確認をして必要な施設改修を検討しますということになっていますが、具体的な施設の改修で学校施設が使える場合はそういうこともあり得るかなというところで、いろんな可能性を実際の活動を見ながら探っていければと思っております。続いて3ページ目は、現在の地域展開実証事業の進捗状況になります。全体の進捗としましては、4月の末に令和7年度に更新したリーフレットを全中学校全学年に配布させていただきました。こちらに関しては、今後小学校5年生6年生にも配

布をする予定です。内容として令和6年度から変わってはいませんが、特に中面の令和7年度の取り組みということで、令和7年度に特化した内容に更新した上で配布しております。こちらの内容については、前回の検討委員会でも説明させていただいていますのでご確認をいただければと思います。4月28日には、対象部活動の顧問の先生方にお集まりいただいて、どういう形で進めていくかということで説明させていただきました。5月上旬に各部活動の保護者説明会にて、顧問の先生から地域クラブの概要や進め方を説明していただきました。5月12日には、小中学校の体育連盟専門部長会議がありましたので、地域展開の概要について全体で説明をさせていただきました。今回対象の部活動に関しては、4つになるんですが来年度の目標として全部活動を地域展開するということにしておりますので、今年度から意見交換等をしていながら準備を進めていきたいなと思っております。この下が各クラブ部活動の状況になります。まずソフトボール部に関して、こちらは顧問の先生と市のソフトボール協会と複数回協議をしていく中で、現状は市内4校に設置がありますがこれを1クラブにして活動をしていくということで意見がまとまっています。活動拠点としては、どこか1ヶ所に限定してしまうと一部の生徒の移動負担というのが出てしまいますので、今のところは久寺家中学校と湖北中学校を拠点として進めたいと考えております。7月を目途に顧問の先生方、それから新しく入る指導者の方と一緒に協議をして、9月に備えたいなと思います。続いてソフトテニスになります。こちらもソフトボールと同様に顧問の先生方それから市のソフトテニス連盟と一緒に協力をしております。その中で、1つ1つ地域クラブ化していくより、まずは合同練習というような形をとって来年度本格的な地域クラブ活動というものを進めていく方が良いのではないかとこのところ、9月以降そのような形で進めていく予定です。まずは9月から10月の2ヶ月で東地区の3校で集まって合同練習をして、11月から3月に市内全校を集めて練習をして、徐々にクラブ化を進めていくということでまとまっている状況です。ただ、ソフトテニスは市内全体でも結構人数が多い部活動でもありますので、実際に3つを1つにしてしまうとなかなか受け入れきれぬテニスコートの面数を持っている学校もありませんので、公共施設を使うのかそれとも企業や大学の施設を借りて拠点としてやっていくのか、活動をしながら見極めていきたいなと思っております。今年度の活動に関しては、市民体育館や企業のテニスコートを借りて練習していきたいなと考えております。その他に大学とも連携をしながら使わせていただけないかというところで協議の方を進めていきます。続いてサッカーになります。こちらも他の競技と同様顧問の方先生方と市のサッカー協会と一緒に協力を進めておりまして、現在5校に部活動の設置があるんですけれども、当初は3クラブから4クラブにして活動していくということで話をしていたんですが、今年度の新入生の状況を踏まえて、4クラブで進めていくということで顧問の先生方と市のサッカー協会

と話をしているところです。7月を目途に協議をしていきたいなと思っております。最後に合唱になります。顧問の先生と協議を踏まえた上で、現状は我孫子中学校と白山中学校に設置がありますが既に一緒に練習もしているので、1クラブで活動をしていくことになります。合唱に関しては、市で手賀沼公園にあるアビスタの学習室を9月から3月まで押さえているような状況です。ピアノもありますので、そこを拠点として始めていきたいなと考えております。現在の各クラブ活動の進捗状況については以上になります。4ページ目がその他の令和8年度に向けての動きになりますが、令和8年度全ての部活動地域展開を目指していく上で、今から顧問の先生方と意見交換をしながら進めていく必要があるというところで、5月から7月まで一度全部活動の顧問の先生方と意見交換をする場を設けて、各部活動ごとにどのような形で進めていくのが望ましいかというところで検討を進めていきたいと思っております。参考までに見ていただければいいかなと思っておりますが、記載の日程でこの先生方と意見交換をしていく予定です。ここに合わせて、市のスポーツ協会の各専門部でありますとか文化連盟など関係団体と協力をしながら地域クラブ化に向けて準備を進めていきたいなと考えております。

続いて地域クラブ活動全体の管理運営業務になります。5ページ目になります。昨年度と今年度に関しましては、地域クラブ活動の管理全体、具体的には指導者の確保や指導者の謝金の支払い、保険の加入など細かい事務的な部分を教育委員会が進めているような状況です。ただ、令和8年の9月からに関しては、こういう地域クラブ活動全体を統括するような管理運営団体が管理の部分を担当していくことを想定しています。そういう意味では、令和8年度全部活動を展開するタイミングでやるよりも、今年度の実証事業の一部のクラブ活動を業務委託という形で行う方が、来年度の検証にもなるので良いのではないかというところで検討してきました。前回の検討委員会の際も少し説明させていただきましたが3月から5月のところで話が具体化してきました、業務委託の概要を記載させていただいてるんですけども、まず委託先に関しては、スポーツ協会に委託をしてソフトテニスとマルチ活動の管理運営をお願いできればなと考えております。スポーツ協会とは、先日意見交換させていただいたところになるんですけども、業務委託でどのようなことをやっていくのかというのが6ページ目になります。記載してあること以外にも細かいところは出てくると思いますが、大きくは7つになるかなと思っています。1つ目としては、コーディネート業務に関して市の地域展開全体に関する助言やサポートをしていただくということになります。コーディネートに関しては、現在市からの委嘱ということで、スポーツ協会から推薦いただいた山本さんをお願いをしているところになりますけれども引き続き業務委託の中でやっていただくというイメージです。2つ目としては、指導者管理になります。募集から登録それから勤怠管理と謝金の支払いまで一連の流れをやっていただ

くこととなります。3つ目としては、参加生徒の管理です。今回ソフトテニスに関しては、合同練習ということで完全な地域クラブということではないんですけれどもマルチ活動の部分に関しては、参加者の募集や生徒と保護者の連絡等を担っていただくこととなります。4つ目としては、会場調整になります。5つ目としては、緊急対応になります。怪我や事故が発生したときの緊急対応ということで、そこを担っていただくこととなります。6つ目としては、活動に必要な物品の調達ということで、主に消耗品になるかなと思いますが必要な物品の調整をしていただきます。そして最後に来年度の管理運営業務を進めていく上での課題検証ということとなります。アンケート等を実施していただいて、最終的に評価報告ということでやっていただきたいなという思っております。大きく業務委託ということにはなるんですけれども、例えば会場の調整や大学との連携等については、丸投げというわけではなく市も一緒になって進めていくということでご理解いただければと思います。最後7ページ目、8ページ目が体制のイメージになります。8ページ目が教育委員会が全て直営で担う場合のイメージということで参考として記載をしています。今年度想定しているのは、7ページ目の体制イメージになりまして、ソフトテニスとマルチ活動の管理上の部分をスポーツ協会に業務委託ということでお願いをします。ただ、スポーツ協会だけでは担えない部分ももちろんあるかなというところで、民間企業に協力を仰ぎながらやっていくのが望ましいかなということで考えているところです。実際に市内の企業さんで、昨年度も協力していただいている企業もありますので、お声掛けをしながら体制作りというものをしていければと考えております。資料2の説明については以上になります。

続きまして、今年度の部活動指導員の状況と市部活動の新入部員の状況について、指導課から報告をさせていただきます。

(事務局)

指導課資料をご覧ください。令和5年6月から部活動指導員11名で始まりまして6月1日にプラスで1名を任用して、合計で32名を全中学校に配置をしております。国や県の補助金を活用しながら、この方々が地域クラブの指導者になっていくことを期待して地域連携を図っています。2番が中学校の部活動の入部状況です。子どもが減っているということだけではなく、部活動自体に加入する子どもたちも減っています。約5年で6.6%も減少しています。部員が足りないなどチームスポーツが成り立たない、合同チームが組めない個人競技など下の方に記載しましたのでご覧ください。特に右側の四角で囲っているところの下側ですが、休日活動している104の部活動の約半分以上が15人以下となっています。これは令和6年から比べるとすごく増えたということがわかります。どんどん加速していくのではないかなというふうに思いますが部活動の偏りなんかも出てきています。次のページに記載してあるものは、現状の部活

動指導員の配置一覧状況そして最後に細かく部員数等の一覧表を載せてありますが、1年生から3年生まで入っているもので、裏面は1、2年生に限ったものをつけさせていただいています。学校の並び順も地域順に西側から東側というようなイメージで並べ替え、これを基に先生方とまた話をしていこうと思います。以上です。議題の2についての説明は以上になります。

(委員長)

ありがとうございました。ただいまの事務局からの説明について、ご意見ご質問ございますか？

(吉川委員)

ご説明ありがとうございます。令和7年度の部活動地域展開の実証事業について教えてください。2ページ目に検証内容として5つ示され、先ほどのアンケートの課題からも関連すると思いますが、この検証を誰がどのように行うかという点は計画がなされているのでしょうか。何か決まっていたら教えてください。

(事務局)

ありがとうございます。この検証に関しては、昨年度は数が少なかったかなというところではあるんですけども、実際に指導者の方と対面での意見交換やアンケートを通した状況の把握というところで検証できるかなと思っております。それから今回拡大していくことと、一部業務委託をしていきますので、アプリなどを活用しながら随時課題や意見等を受け付けられるような仕組みがあってもいいかなと思います。

(吉川委員)

ありがとうございます。今後拡大していくということなので、おそらく種目の特性や性質によっての対応になってくると思うので、よろしくお願いいたします。

(委員長)

今の質問に付随して、事務局の答えがあやふやなところを感じます。検証の基準というものをもう少し確認して、ポイントを押さえていただくような項目を挙げていただくことが良いのかなと思います。

(細川委員)

保護者の代表としまして、1つお尋ねしたいことがあります。いろいろなところで子どもたちのために動いていただいていることがよく分かりました。ありがとうございます。1つお尋ねしたかったのが、資料2のところの活動用品調達の具体的な例として、特に中学校の高額な備品やバスの移動で遠征したりするのも会費の一部で出るところありまして、年間でいうと100万から200万くらいのもものもあるんですが、その辺が受益者負担で賄えるものなのか地域の活動をしてる方から負担をしていただくものなのか補助金から負担してもらえるのか教えていただければと思います。

(事務局)

ありがとうございます。必要な備品、消耗品は競技と活動によってかなり異なってくるかなと感じていますが、例えばテニスであればボールなどの消耗品は受益者負担の金額の中から対応していくということになると思います。また、高額な備品に関しては、例えば吹奏楽の楽器を受益者負担の中から買うというのはかなり難しいかなと思います。そういう場合は、平日は部活動で休日は地域クラブ活動ということになりますので、ある程度学校のものを使用しながら活動していくということになってくるかなと思います。近隣市では、まだ事例がないんですけれども、隣の柏市では、教育委員会と地域クラブ活動を管理運営する管理運営団体が協定を結んで相互に物品を使用するというような事例もあります。まだどの活動でどのくらいの費用が物品にかかってくるかというのが見えていないので、現在の活動でかかっている費用などを確認しながらやっていきたいなと思います。また、個人で使うものに関しては、これは今まで通り個人の負担ということになってきます。以上です。

(豊島委員)

2点お伺いします。1つ目は、4ページのところの現在の進捗状況で顧問との意見交換が6月から行われていくわけですが、大体計画しているように進められるのかというのがありまして、進めたいと思ってはいるのですがそれぞれどのような課題があるのかなということもありますので、それが1点です。

もう1点は、部活動指導員配置一覧というところの任用開始等がそれぞれ記載してありますが指導員の方はもう決まってると考えていいんですか。

(事務局)

2点お答えさせていただきます。まず1点目に関しては、意見交換の部分について昨年度の卓球と陸上は、半年くらいの間で意見交換などをしながらやっていったというのが実情で、準備としては正直足りなかったなというのをやってみてすごく感じましたので、来年度9月から予定している部活動に関しては、夏休みに入る前までに1度全部活動の顧問の先生方と意見交換をして、その中でいろいろな課題を出していただいて、1歩目としてどういう形がいいかなどを考えていければと思っているところです。

2点目の部活動指導員につきましては、令和5年の6月が最初の任用だったんですがそのまま継続してやっていただいている方、年度の途中から対応して学校の方からボランティアで入っていてこういう人がいるんだけどという話をいただいて任用した方、あとは説明会を12月に実施をして来ていただいて学校と調整をして入っていただいたという方、6月1日でさらにもう1人が入って32名ということになっています。この方々は、9月から始まる実証事業のサッカー、ソフトテニス、合唱、ソフトボールで地域クラブの指導者として中心になっていただくような方々と想定しているの

で、また任用が終わって、また新しい人を任用して探していくという形で繋いでいるところです。

(豊島委員)

はい、ありがとうございます。すごく大変な作業なので、頭が下がりますけれども重要ですのでお願いしたいと思います。それから顧問との打ち合わせがマッチしないと上手く進まないの、そこを非常に気にしておりました。やる上では絶対問題が起きます。上手くはなかなかいきませんがそこを乗り越えてやっていかないといけないので、こういう問題があるとかこういうことが起こっているということをみんなに教えていただいて総力戦でいった方がいいと思いますので、よろしくお願いします。以上です。

(委員長)

その他いかがでしょうか。

(事務局)

事務局から1点マルチ活動の部分について、前回の検討委員会では詳しく説明できていなかったかなと思いますので、リーフレットを開いていただきまして簡単に説明させていただきたいと思います。

今回マルチ活動についてということで、既存の部活動の地域展開とは別で予定をしているところになります。このマルチ活動に関しては、昨年度 NEC さんの協力によってマルチスポーツという形で全5回プレ事業を開催いたしました。内容としては、部活動にないような種目などを中心にいろんなスポーツを経験して、総合的な運動能力を高めていきましょうというのが狙いで実験的に実施したことになります。指導者としては、実際のアスリートに来ていただいたり、中央学院大学と川村学園女子大学の学生さんに指導者として参加していただいて実施しました。定例的な活動として実施できればと思っています。種目は部活動にないもので、例えばバトミントンやダンスなど NEC グリーンロケッツさんもいるのでラグビーなどを展開していければと考えております。実技に加えて、昨年度はコンディショニングの分野などの座学も行いまして、実際に保護者の方にも参加していただきましたが企業の協力も得ながら実施できればと思っています。このマルチスポーツ活動に加えて、文化活動も展開できればということで考えております。基本的には、今の部活動にない活動を文化連盟さん等と協力しながら実施できればと思っています。昨年度は単発の教室などを開いていければというお話をいただいていたので、今後協力しながら進めていきたいと思えます。こちらも同様で、9月から活動を開始できればなということで考えております。以上になります。

(委員長)

ありがとうございます。ご質問等ございますか。

(中村委員)

部活動指導員配置一覧という資料で、この 32 名の中の何人かは実証事業の中で立場が変わっていくというお話でしたが実証事業以外のところで活動していく他の種目の人たちの外部指導員をもっと増やさなくてはいけないのではないかとスポーツ協会としては考えているんですが、卓球で言えば全学校に部活動があって、男女それぞれありますから 2 名ずつ配置してたとして、20 名程度必要になります。そういう意味では、指導員をどうやって増やしていくかなんていうあたりの考え方はどうでしょうか。

(事務局)

やはり指導者をどれだけ確保するかというのは、1 番最初に検討委員会が始まったところから大きな課題としてやって参りました。現段階では、学校からの要望があって指導者もその競技が専門的にある程度できる経験がある、1 番良いのは資格を持ってるというところだと思うので、そこがうまくマッチしていかないと指導員だけをただ集めて学校の方にするというのは、なかなか難しくて更に入れたことによって問題が発生しないわけではないんですね。今後のことについて言えば、部活動指導員という制度自体もどこまで続けていくかというのがありまして、平日の先生方に代わって担っていただけるような人を探していかなくてはいけないんですが、実際その時間帯の平日 15 時から 18 時くらいまで時間が空いてる人となるとなかなかいないので、やり方についても今後は考えていかなくてはいけないのかなと思います。あとは指導員になっていただく方が、決して部活動指導員からだけではないと思うので、兼業ができない方であるとか学生でボランティアでいいですという方もたくさんおります。学校の方には、その都度こういう方がいるんですけどどうですかということで、できるだけ学校の方にも上手く受け入れてもらえるように依頼をしていきたいと思っています。

(中村委員)

積極的に学校と話していただいているというのは聞いてるんですが、私が専門に指導しているのは卓球で、子どもたちのクラブをやっていて卒業生がどんどん出てきて大学に入りましたという人たちが、この部活動の地域展開に関してかなり関心を持ってきて、是非入りましようということで今推薦しているところなんですけど、学校と直接話さないということで本人が学校に相談をしたら、今検討してるからしばらく待って欲しいというままになっていたりして、指導課が学校に話をしてくれるところまではいいんですけど、ちょっともったいないなという状況があります。

(豊島委員)

すごく大事な意見だと思います。この計画が成功するかしないかという根本だと思うんです。学校の先生を退職した人でそういう特技を持ってる人もいるわけで、それ

から卒業した学生さんたちもいて、どうやって受け入れていくかというのがあって問題となっている1つは学校側が受け入れないんですよ。責任の問題があるということ
でなかなか学校は受け入れない。それが1つネックになっていて、教育委員会も来年度からもう少し風通しがいいようなことをやっていかないと指導者も増えていかないし、実際にそんな簡単に指導者は生まれるものじゃないので、そこを今おっしゃっているのですか。

(鈴木委員)

学校で紹介されたけど受け入れないということは、理由が部活の顧問や何かあるんだと思うんです。それはいろんな理由があると思います。もしかしたら、ただ忙しいだけかもしれない。対応が遅れてるのかもしれない。ということもありますし、それは学校それぞれで理由があると思いますが、学校側としては受け入れは積極的にしていきたいと思いますし、指導課から紹介された人やスポーツ協会から指導課を通じて紹介された人は積極的に受け入れたいという気持ちはあります。今後校長とも話しながら受け入れの体制ができるように話をしていきたいと考えております。

(委員長)

事務局からは何かございますか。

(事務局)

はい。人を見抜くことというのはとても難しいので、どこまで細かくやるかというのも難しいんですが任用をする方というのは、まずはボランティアでやってくださいということで、やはり中学生と接するということの経験がない人も中にはいますので、是非学校の方もそれを見極めていただいてからいろいろ決めていただければいいかなと思っています。以上です。

(委員長)

いかがでございましょうか。

(豊島委員)

それで間に合うんですか。

(事務局)

誰でもいいから入れるということは、さすがにそれは子どもたちのためにはならないと思うので、誰でもとにかく人を見つけて入れてしまえということは思っておりません。ただ、先生方と何度もお話を重ねていく中で、先生方からもやはりここで部活動指導に入ってるもらうとかボランティアの方に入ってもらえる方が本当に大事なんだなということを少しずつ意識としてもしていただいている、保護者でもう子どもが卒業をしたけど声かけてるんですという話は少しずついただくようになりました。またこれが保護者の方にもその地域展開ということの概要や内容がもっと浸透してくれば、協力したいという方が出てくるのではないかなと思ってますが、間に合うか間に

合わないかと問われると、間に合うように一生懸命頑張ります。子どもたちのためになるようにしたいと思います。

（豊島委員）

子どもの安全は絶対です。それはもう最大の条件です。ただ、やはり積極的に集めて何とかしていかないといけないなと思うので、よろしくお願いいたします。

（近藤委員）

また7月にサッカー協会と先生方との打ち合わせがありますので、これから調整をしていくところです。また地域クラブということがチャンスだと思って、先生方だけではなくて地域の方も手伝っていかなくてはいけないと思って運営していけるんじゃないかと思います。ただ、できることならばクラブ独自のカラーを出せるような地域クラブを作っていけるといいなと思います。やはりみんな同じ規制をされてしまうと困ってしまうので、いろんな話が出ておりますが我々は要請があれば対応していきたいと思っております。

（中村委員）

白山中学校の卓球部については、今年度も継続で実証事業を行うということで進んでいます。卓球の場合他の学校が取り残されているということが非常に気になっております。子どもたちにとってみると対象になっている学校とそうじゃない学校で格差が出てしまうと思うので、先ほど説明していただいた通り、現状ランチルームでやってる活動になるので校舎の中での活動になっていて、クラブ活動化したときに先生がいなくてできないというのは白山中学校だけではないんですね。体育館でできてる学校もほとんどないですよ。卓球台を教室に運んでみたりいろんなことしてやっている。令和8年度から全部のクラブが休日に関して地域展開しようと言ったときに施設が全く使えない状態だと、どこから手をつけていいのかわからないというもあるんじゃないかと思います。今年度の実証事業の対象外については、どこをどう進めていったらいいのかなというのはちょっと相談したいなと思います。

（事務局）

ありがとうございます。卓球に関しては、先日大会終了後に顧問の先生方にお時間をいただいて意見交換させていただきました。その中で体育館のアリーナでやっている学校は1校もないような状況ですので、白山中学校と同様に同じ課題が出てくるといのは共通した認識でいます。ただ、施設の問題はもちろんあるんですけども地域クラブ活動を白山中学校以外でも展開していくというような前提で、時期は未定ですが、今年度中に東地区の学校が合同練習というような形をとるので、いろんな諸課題というものをを出していきながら、その後西地区の学校でも合同練習をしていきたいということで意見交換はできています。本当に少しずつではあるんですけども他の部活動も含めて、地域クラブ活動を前提とした練習をやっていきたいなと思っていま

す。

(委員長)

その他よろしいでしょうか。それでは次に進めさせていただきます。3つ目のその他についてお願いいたします。

(事務局)

今回その他については特にございません。

(委員長)

全ての議事が終了いたしました。全ての議事についてご意見ご質問ございますか。

いよいよ拡大した実証が始まります。今年度はどのような展開になるのかというのを見守って、またこの委員会の中でも議論を深めて参りたいと思います。

では、本日傍聴された方がいらっしゃいます。傍聴をされた方でご意見ございましたら、1回3分以内でお願いいたします。

(傍聴人)

本日はありがとうございます。活発な議論がありすごく良かったです。

3つほどあるんですけども、アンケート結果の15ページのQ12で個人が特定する可能性があるため非公開というところと、18ページのQ17でアンケートの回答が良い、普通、悪いだけしか答えられないというところで思いを伝えられず残念ですということが書いてあったんですけども、複数回答可のところでは別に個人情報がかかるような内容は出ないのではないかなと思ったり、アンケートの取り方は見直した方がいいのではないかなというのが1つ目です。

次に22ページのQ5に特別支援学級生徒をサポートするための時間が取られると記載がありますが、配慮が必要な生徒であったり、不登校の子で部活だけ出るような子であったり、そういう子たちへの対応というのは、今後業務委託したときにきちんとできるのかなと思ひまして、学校とか関連機関との関係性というよりも教育相談センターの繋がりなどそういったことは書かれていないようなので、どこまで業務委託されたところは見ないといけないのかというのは、話していくべきなのかなというふうに思いました。

もう1つは、指導課資料のところの2ページ目の部活動指導員配置一覧なんですけれども、西から東へということですのでよく見やすく分かりやすくなっていると思います。この部活動指導配置のところで、兼業をしている先生は生徒に教えたいというところでやっていただいている方だと思ひますね。そういう人になかなか学校の先生だからということで、特別に鍵の対応をしてくれなど負担がかかるとそれはちょっと先生にはかわいそうかなというふうに思ひたりするので、その辺を検討していただけると良いのかなというふうに思ひます。よろしくお願いします。

(委員長)

ありがとうございました。複数回答の選択肢が少ないので、全部当てはまるので選択肢が少ないときは、その中でも1つだけ最も当てはまるものだけ選ぶというのでもいいかなと思います。それからやはり指導者のアンケートを見ますと、教育者としての側面を期待されてる面もございますので、そういう意味では、指導力はそんなにないけど人柄がいいなど、何かそういうようなことで希望が集まるですとか、今回のアンケートを基に少し明確にしていきたいと思います。

では、本日の議題は以上でございます。最後に事務局より何かございますでしょうか。

(事務局)

次回の検討委員会の日程についてですが、7月中旬から8月上旬を予定してます。また決定次第、改めてご連絡させていただきますので、お忙しい中恐れ入りますがご協力いただきますようよろしくお願いいたします。以上です。

(委員長)

それでは、本日はお忙しい中ご出席いただきましてありがとうございました。また貴重なご意見ありがとうございました。次回もどうぞよろしくお願いいたします。本日はこれで終了いたします。ありがとうございました。